

## 論文審査結果の要旨

氏 名：下田 栄次

学位の種類：博士（危機管理学）

学位論文名：福祉避難所の運営に対する理学療法士の関与のあり方と派遣調整システムの構築

審査委員（主査）：戸田 和之

（副査）：黒木 尚長

（副査）：藤本 一雄

（副査）：隆島 研吾（神奈川県立保健福祉大学）

大規模災害時における避難所や福祉避難所の不適切な運営により、要配慮者に対して二次的な障がいを増やしている現状にある。本研究は、理学療法士によって、避難所や福祉避難所に潜在している諸問題が解決できるのではないかと、との考えに基づき取り組まれたものである。問題の解決には理学療法士の適切な派遣調整が不可欠であることを明らかにし、派遣調整システムの構築も行っている。

論文は3つの研究を中心に5つの章で構成されている。第1章では、避難所や福祉避難所における災害リハビリテーション支援の現状と、本研究の位置づけが説明されている。第2章では、避難所や福祉避難所が想定している開設時期と期間が実情と乖離している点や、受け入れ対象としている要配慮者が限定的であるといった問題点が明らかにされている。第3章では、避難所の開設訓練段階から理学療法士が積極的に関与し、リハビリテーション専門職の配置の有無によって、「参加型支援」と「協働型支援」を区別して支援することで、問題の解決に有効であることが示されている。第2章、第3章での研究成果を受け、理学療法士により問題の解決を図るには、適切な派遣調整が不可欠であるとの結論に至る。そこで、第4章では GIS を用いた派遣調整システムの構築が行われ、情報伝達演習によりその有効性が検証されている。第5章では研究成果をまとめ、今後の課題や展望、構築したシステムを実装させるための提案が行われている。以上のことから総合的に判断して、本論文の内容は、避難所や福祉避難所における要配慮者の健康管理に対して意義があり、危機管理学の博士論文として十分に価値があると認められる。

論文審査にあたっては、研究科長及び専攻長を含む教職員や学生のみならず、一般にも公開された公聴会を経て、学外委員を含む審査委員による口頭試問を行い、下田栄次氏に博士（危機管理学）を授与することが決定された。